

天理市は奈良県の北中部に位置する人口約6万5000人の地方都市である。奈良市から桜井市に至る最古の古道として有名な山辺の道が天理市東部の山麓部を通過し、各所に多数の古墳や由緒ある神社などが見られる歴史資産の豊かな都市である。市街地の中心部に天理教協会本部があり、その名の通り、天理教と融合した宗教文化都市として知られている。

別世界の光景

市名の由来は、江戸時代に当市丹波市町において天理教が発祥して以来、地域の発展に寄与してきた歴史の中で、1954年に山辺郡丹波市町と周辺の町村が合併し、全国初の宗教団体名を冠した天理市が誕生した。天理教協会本部はJR桜井線・近鉄天理線の天理駅から東方約1・2キロ



学校法人天理大学④ 宿泊施設となる天理教大教会信者詰所⑤

にあり、周辺には幼稚園から大学院までの職員・学生約6

～文化的歴史の所産を巡る～ 残したい情景

第46回 奈良県天理市



一般財団法人 日本不動産研究所

有名な学校法人天理大学や付属図書館などの教育施設のほか、天理よろず相談所病院など天理教関連施設が至る所に配置されている。いずれも「おやさとのやかた」と呼ばれる独特な建築物であり、この一角に足を踏み入ると別世界の光景が現れる。

天理教協会本部と天理駅との間には、奈良県下で最長の約1キロに及ぶアーケード付きの天理本通り商店街があり、約180の小売店舗、飲食店舗が軒を連ねているが、神具店・装束店などの天理教関係が多く出店しており、天理教

宗教と融合する歴史都市

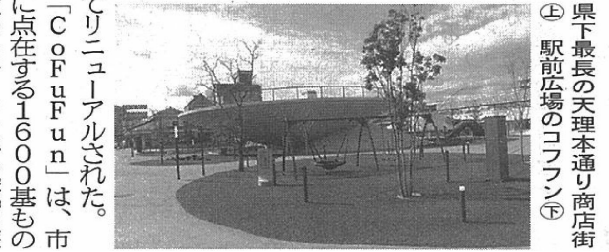
全国区の商店街へ再生進む

000名を擁し、ラケビー・野球・柔道などスポーツでも



有名な学校法人天理大学や付属図書館などの教育施設のほか、天理よろず相談所病院など天理教関連施設が至る所に配置されている。いずれも「おやさとのやかた」と呼ばれる独特な建築物であり、この一角に足を踏み入ると別世界の光景が現れる。

天理教協会本部と天理駅との間には、奈良県下で最長の約1キロに及ぶアーケード付きの天理本通り商店街があり、約180の小売店舗、飲食店舗が軒を連ねているが、神具店・装束店などの天理教関係が多く出店しており、天理教



県下最長の天理本通り商店街④ 駅前広場のコフファン⑥

貸し物件も目立つなど衰退化傾向が進んでいる。このような状況にあって、

してリニューアルされた。

活性化に向けた取り組みが行われ始めている。

活性化へ事業推進

08年には商店街内の空き店舗を活用した「てんだりColors」が開設され、大

学生を中心とした運営により

野菜・果物の青空市やイベント等が行われている。

また、17年4月には天理市の活性化プロジェクトの一環

で天理駅東口の駅前広場が再

整備され、天理駅前広場「CoFuFun」(コフファン)と

市内に点在する1600基もの古墳をモチーフに、地域の歴史の資産を組み合わせたデザインで、目新しいランドマーク的な存在となっている。広場約7700㎡にカフェやレンタルサイクルをはじめとするショップ、総合案内所、待合スペース、屋外ステージ、遊具などが備えられ、各種イベントや観光情報の発信、近隣住民の憩いの場として休日にはにぎわいをみせている。

これらの取り組みにより、天理本通り商店街と天理駅前との連携が進み、地域に密着しながら、全国各地から天理教信者が訪れる全国区の商店街としての特性が維持されることを期待する。

(奈良支所／不動産鑑定士・松山順一)